

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヴェレナシティ夙川パークナードⅡ	階数	地上7F、地下1F
建設地	西宮市神園町1-1	構造	RC造
用途地域	第3種高度地区	平均居住人員	483 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2021年5月7日
敷地面積	7,443 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社IAO竹田設計 宇野達彦
建築面積	3,091 m <sup>2</sup>	確認日	2021年5月7日
延床面積	16,133 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社IAO竹田設計 宇野達彦

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 3.2	Q3のスコア = 3.1
音環境: 3.0, 温熱環境: 2.9, 光・視環境: 2.6, 空気質環境: 4.3	機能性: 3.7, 耐用性: 3.1, 対応性: 2.8	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.9	LR2のスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.2
建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 2.0, 設備システ: 3.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.4, 汚染物質: 3.3	地球温暖化: 3.6, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
自然を多く取り入れることにより温度上昇を抑え、使用建材からの化学汚染物質の排出を抑制することにより大気汚染への配慮をしている。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 建材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用し、VOCIについてはホルムアルデヒド以外、放散量が少ないものを採用するよう配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地や水面を取り入れ、温熱環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 特になし。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。
<b>Q2 サービス性能</b> CAT-5Eを採用している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 設備を埋め込まないよう設計することにより分別可能にし、再利用可能性向上に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される